

だい ぶ か だい  
第 6 部 課題

この用紙は、ようし 大会当日使用しますので、たいかいとうじつしやう 必ずご  
じさん 持参ください。かなら

だい かい  
第 15 回  
まいにち にゆうりよく  
毎日パソコン入力コンクール  
しゅう き たい かい  
秋季大会  
か だい  
【課 題】  
だい ぶ わ ぶん  
第 6 部 和文 B  
とうきやう ごりん かんきやう せ かい  
東京五輪と環境 「もったいない」 を世界に  
せいげんじかん ふん  
制限時間 5 分

とうじつ ちゆういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

1. この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
2. 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、平成27年5月4日、平成27年2月16日付 毎日新聞社説・余録より引用しました。（文字数1,780字程度）

かだいぶんしやう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしや  
毎日新聞社

いっばんしやだんほうじん  
一般社団法人

にほん のうりよくけんていはいんかい  
日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしやう  
総務省


もんぶかがくしやう  
文部科学省


こうせいろうどうしやう  
厚生労働省


けいざいさんぎやうしやう  
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行35字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


しゃせつ どうきょう ごりん かんきょう せ かい  
社説：東京五輪と環境 「もったいない」を世界に 


2020年東京オリンピック・パラリンピック開幕まで5年余りとなった。  
世界最大規模のスポーツの祭典を、施設中心のイベントに終わらせてはならない。  
開催を契機とした新たな取り組みやその精神をレガシー（遺産）として次  
世代に伝えていくことが大切になる。 


20年は地球温暖化対策の新枠組みが世界で始まる節目の年となるはずだ。  
2度目の東京五輪は環境を重視し、持続可能な社会の将来像を世界に示すお手  
本となってほしい。 


かつて五輪は、開催国の経済発展の機会とされる一方、大規模な施設の建設  
が自然環境を損ねてきた。1964年の東京大会も、そうした両面があったこ  
とは否めないだろう。 


だが、70年代から高まった環境破壊への批判を背景に、96年にオリンピ  
ック憲章が改正された。環境に関心を寄せ、持続可能な開発を促進することが  
盛り込まれ、環境はオリンピック運動の大きな柱となった。 


これまでの五輪で、最も環境に配慮した大会と言われているのが12年ロ  
ンドン大会だ。 

同大会の組織委員会は07年、開催に伴って生じる廃棄物の埋め立てをゼロ  
とし、二酸化炭素（CO2）の排出を削減するなど具体的な目標を盛り込んだ  
持続可能性計画を策定。これに従い、資材の再利用や生ごみの堆肥化などで埋  
め立てゼロを実現した。主会場のロンドン東部地区は事前に土地の浄化や緑地  
の整備がなされ、環境都市となりつつある。 

20年の東京大会はロンドンをしのぐ環境配慮型の大会としたい。CO2や  
廃棄物の排出削減は当然であり、資源の無駄をなくすことは経費削減にもつな  
がるはずだ。 

真夏の開催となることから、熱中症対策も大きな課題となる。路面の温度上  
昇を抑える舗装や緑地整備を進めたい。都心部で相次ぐ再開発計画と連動すれ  
ばより効果的だ。 

大会では水素エネルギーの積極的な活用なども検討されているが、五輪開催  
は日本の環境技術を世界にアピールする絶好の機会ともなる。 

東京大会の招致委員会は立候補ファイルで、「もったいない」の精神に基づ  
き徹底的に廃棄物をなくす大会とすることや、五輪の発信力を生かして環境意  
識の向上を図ることなどを掲げていた。こうした姿勢は高く評価できる。 

心配なのは、その実現に向け、数値目標などを盛り込んだ実行計画ができていないことだ。東京大会の組織委員会は来年度に計画を公表する予定だが、ロンドン大会と比べると遅れている。策定に際しては政府や都、環境NGO（非政府組織）などと合意形成を図る必要がある。5年という期間を有効に使って

ほしい。◀

毎日新聞 2015年5月4日 ▶



余録：アイスランドに行くならサングラスが必需品…▶

アイスランドに行くならサングラスが必需品。そう聞いて、夏でもないのに？と首をかしげたが、現地に着いて納得した。首都レイキャビクは北緯64度。太陽の高度が低く、真っ昼間でも真横から光が目飛び込んでくる▲北極圏に近い緯度の高さが夜にはオーロラをもたらす。飛行機には日本人観光客も乗っていた。首都のホテルからバスツアーがあるなど比較的手軽に観測できる国として人気が高まっているらしい▲そんな最果ての北国で意外な国の人々に出会った。ケニアやルワンダ、タンザニアなどアフリカ諸国から地熱利用を学びにきている留学生だ。世界有数の火山国アイスランドは電力の3割、暖房の9割を地熱でまかなう。その強みを生かし国連大学と共同で、途上国向け「地熱トレーニングプログラム」を1978年に設けた▲以来、昨年までに58カ国583人の科学者・技術者が6カ月のコースを修了した。修士・博士課程も用意されている。出身国はアフリカばかりでなく、中国やフィリピンといったアジア諸国、中南米や東欧など幅広い。修了生は母国に戻り地熱利用の発展をけん引しているという▲同じ火山国の日本は地熱の潜在的資源量の推定では世界第3位。アイスランドを大きく上回る。にもかかわらず、温泉事業者の懸念に加え環境保護と規制緩和のバランスの調整に手間取り、利用は遅々として進まない▲レイキャビク滞在中は曇りがちで日本人観光客もオーロラを見損なったらしい。そんな人たちには、代わりにぜひ、地熱の知識をお土産に持ち帰ってほしい。きっと日本の地熱利用を後押しする力にもなるはずだ。▶

毎日新聞 2015年2月16日